

satto shampoo club利用規約

2024年11月1日作成

この規約（以下「本規約」といいます。）は、株式会社nanopet（以下「当社」といいます。）が運営する「satto shampoo club」（以下「本施設」といいます。）を利用される方（以下「利用者」といいます。）に適用されます。

第1条（会員登録）

1. 本施設において当社が提供するサービスの内、セルフ式ペットシャンプーに関するサービス（以下「本サービス」といいます。）の利用を希望する利用者（以下「登録希望者」といいます。）は、本規約の内容に同意し、かつ当社所定の情報（以下「登録事項」といいます。）を当社所定の方法で当社に提供することにより、本サービスの会員登録を申請することができます。
2. 当社は、前項に定める会員登録の申請があった場合は、当社所定の基準に従って会員登録の可否を審査し、当社が会員登録の承認をした時点で、登録希望者は本サービスの会員（以下「会員」といいます。）となるものとします。
3. 会員から当社に提供された登録事項は、会員が本サービスを最後に利用した日から1年経過後に破棄されるものとし、会員が再度本サービスの利用を希望する場合は、再度会員登録を申請するものとします。

第2条（料金及びキャンセル等）

1. 利用者は、本施設・本サービス利用の対価として、当社所定の利用料金その他の代金（以下「利用料金等」といいます。）を、当社所定の支払方法により当社に支払うものとします。
2. 利用者が利用料金等の支払いを遅滞した場合、利用者は年14.6%の割合による遅延損害金を当社に支払うものとします。
3. 会員は、本サービスの利用をキャンセルをする場合、「別紙：キャンセルポリシー」に基づき、当社に対してキャンセル料金を支払うものとします。
4. 当社は、当社所定の事項に該当する場合を除き、利用者から受領した利用料金等を利用者に対して返還しないものとします。

第3条（退会手続）

会員は、当社所定の手続をとることにより、自由に退会できるものとします。ただし、会員に利用料金等の未払いがある場合には、支払いが完了するまで退会することはできません。

第4条（本施設及び本サービスの利用条件）

利用者のペットが、以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は、利用者に対し、本施設又は本サービスの利用を拒否し、又は中止させることができます。この場合において、当社は、利用料金等を返還する義務を負わないものとします。

(1) ワンちゃんの場合は、狂犬病、5種以上の混合ワクチンの接種を直近1年以内に受けていない場合又は狂犬病予防注射済証を当社に対して提示しない場合。ネコちゃんの場合は、3種以上の混合ワクチンの接種を直近1年以内に受けていない場合。ただし、ワクチンの接種を摂取するのが困難な事情が存在する場合において、獣医師その他の専門家、関係機関の客観的な証明書等により、利用者のペットによる本施設又は本サービスの利用が可能であると当社が判断した場合を除きます。

(2) 狂犬病、混合ワクチン接種後、1週間が経過していない場合

- (3) 手術直前又は術後抜糸が終わってから1週間が経過していない等の理由により、本施設又は本サービスの利用が適さないと当社が判断した場合
- (4) 生後3か月未満の場合
- (5) ノミ、ダニが多数寄生している場合
- (6) 心臓、呼吸器系、てんかん等の持病がある場合
- (7) 生理中、妊娠中、出産後30日以内の場合
- (8) 噛み癖がある、ひどく暴れるなど、人や他のペットに対して攻撃性がある場合
- (9) その他、ペットの体調や健康状態等に照らして、本施設又は本サービスの利用が適さないと当社が判断した場合

第5条（遵守事項等）

- 1.利用者は、会員としての地位等、本規約における契約上の地位又は権利若しくは義務を第三者に譲渡又は承継することはできません。
- 2.利用者は、本施設又は本サービスの利用によって、当社から本施設その他の財産等にかかる所有権、賃借権を含む一切の権利の付与、譲渡、実施許諾がなされるものではないことを確認するものとします。
- 3.利用者は、本施設又は本サービスの利用に関連して当社又は第三者に損害を与えた場合には、直ちに当社に報告するものとします。
- 4.利用者は、他の利用者が本規約又は法令に違反した場合には、直ちに当社に報告するものとします。
- 5.利用者は、本施設及び本サービスの利用に際し、利用時間の厳守、飲食物及び消費剤の持込禁止等、当社所定の利用方法に従うものとします。

第6条（登録抹消等）

- 1.当社は、以下の各号のいずれかに該当する利用者に対して、本施設若しくは本サービスの利用制限若しくは利用禁止、又は会員登録の抹消等の措置を講じることができます。
 - (1)本規約又は法令に違反し、又はそのおそれがある場合
 - (2)体調不良、アルコール又は薬物使用等により、本施設又は本サービスを正常に利用できないと当社が判断した場合
 - (3)本サービスの受付を完了した利用者のみが立ち入れるスペースに、受付をせずに立ち入った場合
 - (4)利用者の身体又は服装が著しく不潔であると当社が判断した場合
 - (5)本施設の利用の際、当社が定める本施設若しくは本サービスの利用方法又は当社の指示に従わない場合
 - (6)利用料金等の全部又は一部につき、支払いを怠った場合
 - (7)本施設において、騒音を出す行為、営利目的の行為、政治活動、宗教・投資・募金等の勧誘行為、広告等の活動等、本施設で行うことが不適切である当社が判断した行為又は活動を行った場合
 - (8)当社又は当社の従業員、他の利用者その他第三者に対して、暴力的又は性的な言動、誹謗中傷、嫌がらせ、プライバシーを侵害する行為その他迷惑行為を行った場合
 - (9)当社又は当社の従業員、他の利用者その他第三者に対して、その権利を侵害し、若しくは損害を与える行為、又はそのおそれがある行為をした場合
 - (10)前各号の他、本施設又は本サービスの利用を認めることが適切でないと当社が判断した場合
- 2.当社が前項に基づく措置をした場合、当社は利用者が発生した損害について一切の責任を負わず、利用者は発生した利用料金等の支払いを免れることはできないものとします。

第7条（賠償責任）

- 1.本施設又は本サービスの利用に関連して利用者に発生した紛失、盗難その他の損害については、当社は、当社の故意又は過失による場合を除き、一切の責任を負わないものとします。
- 2.当社が利用者に対してその損害を賠償する責任を負う場合であっても、当社の故意又は重過失による場合を除き、当社の損害賠償責任の範囲は、通常損害（積極的損害かつ直接損害に限ります。）の範囲内で、かつ、本施設の直近の利用において利用者が当社に対して支払った利用料金等を上限とします。
- 3.利用者は、故意又は過失により、本施設の利用に関連して当社又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償する責任を負うものとします。

第8条（本施設又は本サービスの提供の停止等）

当社は、以下のいずれかに該当する場合には、本施設又は本サービスの全部又は一部の提供を停止又は中断することができるものとします。

- (1) 利用者のペットが利用条件を満たさない場合
- (2) 利用者及びそのペット、他の利用者及びそのペット並びにスタッフ等に危険又は損害が生じるおそれがあると当社が判断した場合
- (3) 本施設又は本サービスの提供に必要な設備及びシステムの点検又は保守作業を緊急に行う場合
- (4) コンピューター又は通信回線等の障害、誤動作、過度なアクセスの集中、不正アクセス、ハッキング等により、本施設又は本サービスの運営ができなくなった場合
- (5) 地震、落雷、火災、風水害、停電又は天災地変等の不可抗力により、本施設又は本サービスの運営ができなくなった場合
- (6) その他、当社が停止又は中断を必要と判断した場合

第9条（本サービスの内容の変更、終了）

当社は、当社の都合により、本サービスの内容を変更し、又は提供を終了することができます。

第10条（本規約の変更）

当社は、当社が必要と認めた場合は、本規約を変更できるものとします。本契約を変更する場合、変更後の本規約の施行時期及び内容を本施設又は当社ウェブサイト上での掲示その他の適切な方法により利用者に周知します。ただし、法令上利用者の同意が必要となるような変更の場合は、当社所定の方法で利用者の同意を得るものとします。

第11条（準拠法及び管轄裁判所）

1. 本規約の準拠法は日本法とします。
2. 本規約に起因し、又は関連する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第12条（利用者情報の取扱い）

1. 当社による利用者の情報の取扱いについては、別途当社プライバシーポリシーの定めによるものとし、利用者はこのプライバシーポリシーに従って当社が利用者の情報を取扱うことについて同意するものとします。
2. 当社は、利用者が当社に提供した情報、データ等を、個人を特定できない形での統計的な情報として利用することができるものとし、利用者はこれに異議を唱えないものとします。

第13条（権利帰属）

当社ウェブサイト、本施設及び本サービスに関する知的財産権は全て当社又は当社にライセンスを許諾している者に帰属しており、本規約に基づく本施設又は本サービスの利用許諾は、当該知的財産権の使用許諾を意味するものではありません。

第14条（保証の否認及び免責）

1. 当社は、利用者のペットのケガ、体調不良、病気、死亡、逃亡等について、当社に故意又は過失がある場合を除き、一切の責任を負わないものとします。
2. 当社は、本施設利用中又は本サービス提供中にペットの病気やケガ等が判明した場合は、利用者の同意なく、近隣病院等にて、治療、処置することができるものとします。当該治療等によって発生した診療費、治療費等は利用者が負担するものとします。
3. 当社は、本サービスが利用者の期待する商品的価値、正確性、有用性を有すること、利用者による本サービスの利用が利用者にとって適用のある法令又は業界団体の内部規則等に適合することについて、明示又は黙示を問わず何ら保証するものではありません。
4. 当社は、利用者の忘れ物について捜索及び保管は行わず、一切の責任を負わないものとします。また、当社は、利用者の忘れ物を廃棄する場合があります、その場合も同様とします。
5. 本施設又は本サービスの利用に関連して利用者与其他の利用者その他第三者との間において生じた紛争等については、利用者が自己の責任及び負担によって解決するものとします。

第15条（反社会的勢力の排除）

1. 利用者は、現在、以下の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたり当該事由のいずれにも該当しないことを誓約するものとします。
 - (1) 自己が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ等、特殊知能暴力集団等その他反社会的勢力の構成員、その他これらに準ずる者（以下「反社会的勢力」といいます。）であること
 - (2) 反社会的勢力が自己の経営又は活動を支配していると認められる関係を有すること
 - (3) 反社会的勢力が自己の経営又は活動に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - (4) 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的のために、不当に反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること
 - (5) 自己が反社会的勢力に対して資金等を提供し又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - (6) 自己が反社会的勢力との間に社会的に非難されるべき関係を有すること
2. 利用者は、自ら又は第三者を利用して、以下の各号のいずれかに該当する行為を行わないことを誓約するものとします。
 - (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし又は暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて、相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる一切の行為
3. 当社は、利用者が本条に違反したことにより損害を被ったときは、当該利用者に対し、一切の損害の賠償を請求することができるものとします。

第16条（協議）

当社及び利用者は、本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合には、互いに信義誠実の原則に従って協議の上、速やかに解決を図るものとします。